

J・Kゼミのテーマ報告会が開催されました！

●各班、これまでの研究成果を報告しました

7月9日(火)に21H生徒(2年人文科学コース)による「人文科学課題研究Ⅰ」テーマ報告会が行われました。翌日7月10日(水)22H23H生徒(2年普通科文系コース)による「課題研究」テーマ報告会が行われました。「人文科学課題研究Ⅰ」テーマ報告会は金沢大学の小浦寛先生、原佑介先生、公立小松大学の長辻幸先生を助言者に迎えました。また、2年普通科文系コースの生徒による「課題研究」テーマ報告会では公立小松大学の西村聡先生、清剛治先生、そして、本校の教員を助言者に迎えました。両報告会には本校OBであり、現在は京都大学博士課程に在籍している大森道也さんにも助言者として参加していただきました。

ラウンド・テーブル(座談会)形式で報告会は行われ、発表者・助言者の双方によって建設的な議論が交わされる一幕もありました。様々な先生方、他のグループの生徒との対話を通し、生徒たちが日々のJゼミ(人文科学コース21H生徒の探究活動)・Kゼミ(普通科文系コース22・23H生徒の探究活動)に思いを巡らせる日になりました。今後の研究がより一層充実したものになることが期待されます。

(以下に報告会の様子と各班のテーマ一覧を紹介します。)

※テーマ一覧については今後の探究の進行によっては変更される可能性があります。

●R6 Jゼミ(人文科学コース21H生徒による課題探究活動) テーマ一覧

A	やまなしがカニ視点で語られているのは、カニに自分を投影しているからか	E	小松市の商店街の活性化
B	源氏は紫の上を正妻に「しなかった」のではないかと ～兼家と時姫の婚姻と比較して～	F	人間にとって変身は何を意味するのか
C	言葉や行動が環境からの影響を本当に受けるのか	G	日本アニメがアメリカで評価される理由を各国のアニメの特徴や文化的背景から考える
D	大阪万博の経済効果と今後の展望	H	日本が失敗から学び次に活かすため方法 ー過去の事例を基に日本の失敗の構造を読み解く

Jゼミ報告会の様子



●R6 Kゼミ（普通科文系コース22・23H生徒による課題探究活動）テーマ一覧

A	日本人の自然観の根幹をなしているのはアニミズムなのか	K	日本特有の概念など一見翻訳不可能な言葉を翻訳するときに映画などではどのような手法を用いられているか
B	平安時代にルッキズムはあったのか	L	なぜフィンランドが世界幸福度ランキングにおいて1位であるのか～下位に沈む日本や世界全体の幸福度の上昇への鍵とは～
C	戦争と文学	M	日本は教育水準が高いにも関わらず、日本の大学が世界大学ランキングで低いのはなぜか
D	百人一首の恋愛の歌から読み解く恋愛観	N	各スポーツにおけるシューズの特性
E	三人のミステリー作家の小説のそれぞれの特徴(傾向)を調べる(比べる)	O	スポーツと衣服
F	能登(奥能登)を復興するにはどうすれば良いのか	P	プロと同様のデータ分析でチームパフォーマンスは向上するのか
G	日本の政治はどうなるか	Q	中高生において学校制服は不要なのか
H	日本円の信用が失われつつある原因が、貿易赤字や周辺国との関係だけなのか	R	色はおいしさにどのように影響を与えるのか～誰でもおいしく感じるには～
I	日本でも武力行為に進んでしまったら、政治リーダーは支持されるのか	S	ボーダレスハウスにおいて、長期的に生活することは可能か、また、可能にするにはどうしたらよいか
J	ディズニーの悪役は、社会の闇や問題をどのように風刺しているのか		

●Kゼミ報告会の様子



今後の予定 (変更になる可能性もあります)

9月25日(水)～26日(木) 関東ヒューマンセミナー

- 1.目的 首都東京で政治経済の中心業務を担う公的機関や幅広く国際的な活動を展開している機関や企業を訪ねることにより 生徒の視野を広げ、将来日本の中心的な役割や国際的な立場を担うことについて考えさせることを目的とする。
- 2.参加者 2年生 人文科学コース(21H) 男子14名 女子26名 計40名

11月中 Jゼミ中間報告会

12月3日(火) Jゼミプレ発表会

12月10日(火)～13日(金) 海外交流研修(希望者研修・台湾)